

■ わが社の使命と夢 ■

たゆまない技術開発で邁進

豊国製油 株式会社
代表取締役社長

今川 和明 氏

大不況の中でスタート

同社は現社長の父親が創業、今川和明氏は二代目社長。国内で2社しかないヒマシ油とその誘導品であるセバシン酸や化成品約150種を生産、販売。下剤として親しみのあるヒマシ油はトウゴマ種子を圧搾してつくる。国内需要は約2万トン強で、このニッチ市場を2社で分け合っている。セバシン酸とその化成品から化粧品、塗料、医薬品、化繊、電気絶縁材など多種多様な用途向けに販売している。

原産地はかつてブラジル、中国、東南アジア諸国だったが、いまはインドが世界の95%生産、同社もインドからオイルを輸入している。

天産物資源だから気候や、インドの政情、為替の変動、他の植物油の相場等で価格が乱高下する。得意先の多くが大手化学会社で、価格以上に安定供給と高品質を重要視する。ここにこそ同社の強みがある。つまり原料価格の大幅な変動に耐えられる資金力がなければ、ユーザーを満足させられる安定供給はできないのである。自己資本比率80%という超優良企業だから可能なのである。

創業者の今川金治氏の座右の銘「在基無憂」(基礎が固まっていれば憂いはなし、ただ前進あるのみ)によって資産を構築、次の世代は時世に逆らわず、一步先を見据えて前進する策を考えたらいいというわけである。

完全自動化への挑戦

国内メーカー2社の寡占でも海外から割安製品が輸入される。しかも得意先が海外に進出するので、国内需要が減退する心配がおこる。同



社も約20年前、中国に進出したが、中国が社会主義市場開放経済への移行でトウゴマ種子の生産を止めたことから撤退、代わりに三重工場を建設、本社工場と2本建て体制をとっている。三重工場は効率化に重点を置き、ケミカル・マニュファクチャリング・サービス(CMS)の受託専門の工場とし、大型最新鋭のマルチプラントと最新の分析機器を装備、受託先の意向の原料を使って競争力の高い製品を相互技術の融合で開発、効率生産している。万一の災害時に両工場は補完できるようリスク回避して安定供給に努める。BCP対応で顧客の絶大な信頼を得ている。

得意先が海外進出しても高品質の同社製品は現地で調達できないので、自動車メーカーが主要部品を国内から調達するのと同様、得意先も同社の製品を使う。

創立60年を飛躍台にと

2011年の創立60周年を機に新規事業を展開する計画を立て、大手石油会社と共同で石油原料からの誘導品の生産に乗り出す。

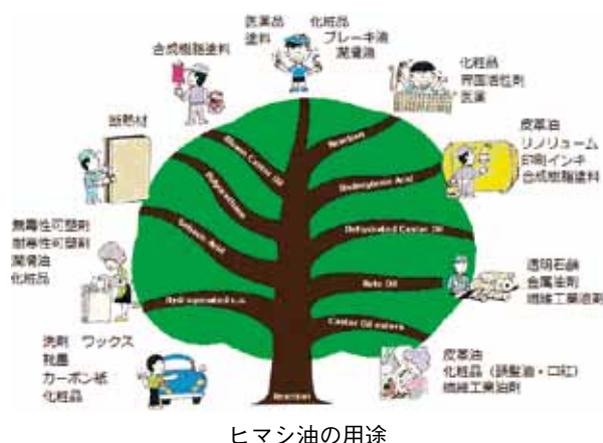
石油会社の本事業の撤退により、当初計画の大きなプロジェクトは崩れたが同社からこの事

業を譲り受け、共同開発した α オレフィン誘導品の「HSクリスタ」と「HSダイマー」の国産化に成功、電子材料や樹脂改質剤として売り出している。

「化学品には寿命がある」という認識で、これから創業100年までモノづくりを続けるには、新旧原料素材の応用と、たえまない技術開発、品質向上、そして飽くなき製造工程の改善しか生きる道はないとしている。このため研究開発、生産管理の人材の育成、強化が当面の課題だという。



ヒマシの実



新たなる挑戦

「計画した事業ができなかったが、大きな敷地が残った」ので、これを使って太陽光発電売電事業を本社と三重工場で開催することになった。年間発電量50万kWを20年間売電することになる。アベノミクスや円安などで、巷間、「景気が回復している」とマスコミは報道しているが、同社の売り上げは2013年比約8%減の予想で、「中小・中堅企業の景気回復の兆しはまだまだです」と、認識の違いを見せている。

創業者は100歳まであと5年残して逝去したが、100という数字にこだわり「チャレンジ100」をキャッチフレーズに毎年、3月の最終土曜日に全社員が集まり年間計画を発表している。売上100億円、社員100名をここ数年、掲げて挑戦しているがいまだに届かない。大阪科学技術センターからは「研究体制の強化や産官学の連携について学びたい」という。そして中途採用も増やし人材の確保に努めたいとしている。

今後の経営の最大の課題は事業承継と後継者の可視化だと考え、40歳になった長男・博道氏を専務に昇格、近い将来、社長の座を譲る意向を固めている。そして創業者が残した「チャレンジ精神こそ未来を拓く」を三代目、四代目へと伝えていきたいという。

〈トップのプロフィール〉

- ①生年月日：1945年（昭和20年）9月26日
- ②最終学歴：早稲田・文学部卒
- ③職歴：同社入社
- ④趣味：読書
- ⑤健康法：酒がおいしく飲めるかが、健康のバロメーター

〈会社の概要〉

- 創業年月日：1951年11月25日
- 年商（決算期）：92億円（2013年3月期）
- 事業内容：ヒマシ油、セバシン酸とその誘導品
- 従業員数：正社員94名、パート6名（2013年3月末現在）
- 所在地：〒581-0092
大阪府八尾市老原4丁目170番地
- 電話：（代）072-949-4121
- FAX：072-949-9124
- HP：http://www.hokoku-corp.co.jp
- E-mail：hokoku-oil@hokoku-corp.co.jp